

難病の子ども達のための キャンプ場建設にご協力を!

みんなのふるさと

夢プロジェクト

外の世界を知らないで育っている子ども達がたくさんいます。

日本はまだまだ、障害児や家族への「サポート」が遅れています!!家からほとんど出られない子ども達とその家族の皆さんのための自然を楽しめるキャンプ場を建設するプロジェクトを支援してください。

山梨県北杜市白州町の3,000坪に

自然と触れ合い、大地を実感できる場。畑づくり、果樹園づくりなどを通じて農作物の生産を体験する場。家族・関係者が研修したり体験したりする場。家族だけであたたかく過ごせる場。

みんなの夢を一步ずつ実現して、『みんなのふるさと』を作ろう!



秋から第一棟目の山小屋建設を始めます!!

甲府中学・甲府一高同窓会の皆様には、たくさんのご協力をいただきありがとうございます。しかし、まだ施設全体の完成まで道のりは遠いです。引き続き、ご協力をお願いいたします。

『みんなのふるさと夢プロジェクト』に協力してください。

全国で25万人以上の子ども達が、難病あるいは重篤な病気と闘っています。認定NPO法人「難病のこども支援全国ネットワーク」(以下難病ネット)では、そうした子ども達と家族、それを支える小児科医など様々な立場の人々が共にネットワークづくりを目指しています。20年以上にわたって、難病ネットは様々な分野で子ども達と家族のQOLを高める活動に取り組んでいます。難病ネットの活動の柱の一つに、毎年全国各地で開催しているサマーキャンプ「がんばれ共和国」があります。このサマーキャンプは全国7カ所(北海道から沖縄)で開かれ、およそ1000人の子ども達(車いすの子、寝たきりの子、さらには重症児で呼吸器が必要な子まで、重症度は様々です)と家族が各地の国民宿舎などの保養施設に集います。普段家に籠りがちな子ども達は、野外での様々な活動やバーベキューなどを楽しめます。わずか数日のキャンプ生活で子ども達は見違えるように元気になり、豊かな感性が育まれます。そして親達は悩みを話し合っって絆を深めます。次第に難病ネットにとって、常設キャンプ場を造る事が悲願となりました。このような経緯の中、ある篤志家が偶然にも私達の故郷山梨の白州町にある広大な3000坪の山林を難病ネットに寄付してくれたのです。



私達は夢の実現を目指して、2011年7月に「みんなのふるさと夢プロジェクト」実行委員会(委員長:仁志田博司 東京女子医大名誉教授 副委員長:後藤彰子前神奈川こども医療センター長)を結成し、白州の地に常設キャンプ場の建設を目指すことになりました。何時でも好きな時に、医療班に見守られて白州キャンプ場で家族と一緒にゆったりと過ごし遊ぶ事は、難病の子ども達にとって素晴らしい思い出となる事でしょう。すでに大規模開発申請は受理され、森林の伐採、そして整地が完了しました。2013年の秋から第一棟目の山小屋建設を始めます。プロジェクトの全てが完成するまでに5年から10年かかるかも知れません。実行委員会では様々な募金活動を繰り返しており、多くの人々の賛同が得られ、全国から寄付金が寄せられています。プロジェクトの完成までには多額の資金が必要になる事をご理解いただき、資金面のご協力を含めてご支援をお願い致します。キャンプ場をイメージしたイラスト(福井修己画)のように、子ども達は木立に囲まれた山小屋に寝泊まりし、小鳥のさえずりを聞き、動物と遊び、風のそよぎを感じて、夜は星の瞬きに見入る事でしょう。

2013年初夏 実行委員 小口弘毅(小児科医)・田伏純子

<http://oguchi-ped.cside.com/index.html>

チャリティ新緑ウォーク

毎年、キャンプ場の白州まで新緑の頃にチャリティーウォークを開催しています。
たくさんの甲府一高同窓生にもご参加いただきました。

自然がいっぱいの新緑ウォーク



甲府一高同窓生の方々も ▲



難病のこども支援全国ネットワークの皆さん ▲



5月19日日野春発 ▲

4月28日は、これ以上望みようもない快晴に恵まれ、淡い新緑の中、およそ80人の老若男女がウォークを楽しみました。後ろは冠雪した富士山、左手には鳳凰三山から甲斐駒ヶ岳に続く南アルプスの雪の稜線、そして右手には八ヶ岳連峰という絶景の中、素晴らしいウォークとなりました。最年少は小学校2年生の可愛い女の子で、楽々と22kmを遊びながら歩き通しました！でも最後は「足が棒」状態の方も大勢でした。一人の落伍者もなく、全員が完歩し、ゴールの白州キャンプ場ではビールやワインで乾杯しました。来年からは「新緑ウォーク日野春-白州12km」を毎年定期開催します。この新緑ウォークは寄付を募るだけでなく、白州キャンプ場の建設状況を見てもらい「みんなのふるさと夢プロジェクト」に関心を持っていただくために毎年開催いたします。どうか皆様続けて参加してください。

新緑ウォーク実行委員 田伏純子、小口弘毅

<http://oguchi-ped.cside.com/index.html>

来年4月26日のチャリティ新緑ウォークにご参加ください。



2014年 4月26日(毎年第4土曜日)

来年は、日野春から白州キャンプ場まで12kmを予定しています。

個人、団体とどなたでも参加可能です。お友だちと誘い合って、ごいっしょに歩きましょう。この地図にあるように、日野春改札口に集合(10:30)し、およそ12kmを歩いて白州キャンプ場が終点です。甲斐駒ヶ岳の雄大な山容を見ながら自然を満喫できる素晴らしいウォーキングコースです。

■現在の白州町 キャンプ場予定地

すでに大規模開発申請は受理され、森林の伐採、地ならし工事、そして整地が完了しました。秋の第一棟目山小屋工事着工の準備ができました。



NPO法人 難病のこども支援全国ネットワーク 「みんなのふるさと"夢"プロジェクト」

ぜひ、ホームページをごらんください。

<http://www.nanbyonet.or.jp/yumeproject.html>

◆甲府一高同窓生の実行委員

新津直樹(S37年卒・小児科医)

田伏純子(S44年卒・「亜急性硬化性全脳炎」患者と家族の会会長)

小口弘毅(S45年卒・小児科医) 小口博司(S47年卒) 青柳 均(S51年卒)

◎ご寄附をお願いいたします。

NPO法人 難病のこども支援全国ネットワークでは、「みんなのふるさと"夢"プロジェクト」の企画にご賛同いただきご支援をお願いしています。

このご寄附につきましては、当会は認定NPO法人ですので税制の優遇措置を受けられます。

振込先 郵貯銀行 口座NO. 00140-5-472963
加入者名 みんなのふるさと夢プロジェクト

みんなのふるさと

応援してください!

夢プロジェクト

プロジェクト 実行委員長 仁志田 博司

病気や障害のある子ども達と家族が、いつでも好きな時に訪れて
自然を楽しむ…それが“みんなのふるさと”です。
山梨県北杜市の自州に、ハケ岳や甲斐駒ヶ岳など
雄大な自然に囲まれた風光明媚な土地の奇進を受け、
夢のふるさとづくりを始めました。



認定NPO法人

障害のことも支援全国ネットワーク

〒113-0033 東京都文京区本郷1-15-4 文京尚学ビル Tel. 03-5840-5972

ganbare@nanbyonet.or.jp

<http://www.nanbyonet.or.jp>

払込取扱票

通常払込料金
加入者負担

02											通常払込料金 加入者負担			
口座番号										金額				
00140-5										472963				
加入者名 みんなのふるさと夢プロジェクト										料金		特殊 取扱		
みんなのふるさと“夢”プロジェクト 寄附を申し込みます。														
団体・企業		1口		10,000円×		口=		円						
個人		1口		1,000円×		口=		円						
※ご寄附は税制の優遇措置を受けられます。 ★お名前には必ずふりがなをご記入ください。														
払込人住所氏名 (郵便番号)										受付局日附印				
(電話番号 - -)														

払込金受領証

口座番号										通常払込 料金加入 者負担			
00140-5										472963			
加入者名 みんなのふるさと夢プロジェクト										金額			
払込人氏名										受付局日附印			
料金										特殊取扱			

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押ししてください。
切り取らないで郵便局にお出しください。



各票の※印欄は払込人において記載してください。

裏面の注意事項をお読みください。(郵政省)

これより下部には何も記入しないでください。



「みんなのふるさと“夢”プロジェクト」と名付けたこの計画は、畑や果樹園、花壇作りなどを通じて自然と触れ合い、子どもと家族が仲間や専門家と研修などを体験するとともに、みんながいつでも集まり共通の時間を過ごすことの出来る場…まさに「みんなのふるさと」にふさわしいプロジェクトです。



- 所在地：山梨県北杜市白州町鳥原字向林
- 交通のご案内：
・JR中央本線「小淵沢駅」よりタクシーで約10分
・中央自動車道「小淵沢IC」より車で約15分

敷地：約3,000坪

■基本的な考え方

- みんな一緒…みんながそれぞれの故郷として、いつでも集まれる場。
- 生産体験…畑づくり、果樹園づくりなどを通じて農作物の生産を体験する場。
- 環境教育…自然と触れ合い、大地を実感できる場。
- 研修・交流…家族・関係者が研修や体験したりする場。
- 安心と安全…医療のサポートを受けながら、数日間を過ごせる場。

※将来構想

- レスパイト…家族だけであたたかく過ごせる場。

■施設（風力発電、太陽熱利用、雨水の再利用などエコシステムを導入する）

- センター棟…事務所、食堂兼研修室、会議室、管理室、倉庫。
- 宿泊棟…40～50名。
- 中央広場…イベント広場。
- 農場…畑、果樹園、花壇、池。※植林体験。
- 駐車場…20台程度。
- ※将来構想
- 診療棟…クリニック（検査機器・薬局等）、入院施設、レスパイト、付き添い施設。

■スケジュール

- 2012.9 …開発申請。
- 2012.12～ …伐採、造成。
- 2013.4～ …ロッジ棟建設開始。

この受領証は、郵便局で機会処理をした場合は郵便振替の払込みの証拠となるものですから大切に保存してください。

ご注意

この払込書は、機械で処理しますので、口座番号及び金額を記入する際は、枠内に丁寧に記入してください。

また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。

（郵政省）

当会は認定NPO法人としての認定を国税庁より受けています。当会への寄附金と賛助会員の会費については、法定の上限額まで、寄附者が法人の場合には損金算入され、寄附者が個人の場合には寄附金控除の対象となります。また当会への寄附金が個人住民税の税額控除の対象となる地方自治体もあります。遺産相続の場合も、優遇措置があります。詳しくは、当会事務局にお問い合わせください。
Tel. 03-5840-5972

この払込取扱票の裏面には、何も記載しないでください。